

地域で支え合う講習会 報告書

訪問看護とは

日時 : 令和 5 年 12 月 22 日 金 曜日 10 : 00 ~ 11 : 00

記録者 : 樋口

今回の講習会は訪問看護について行いました。みなさんあまり馴染みがないため看護師さんが訪問に来てくれるサービスと漠然としたイメージはありました。詳しく訪問看護のここととちぎ訪問看護ステーションくろばねの磯看護師よりご講義いただきました。

◎参加者 地域住民22名、包括支援センター職員3名、社会福祉協議会職員1名、警察官2名
市役所職員 1名 かをる職員3名
合計32名

会場：旧川西中学校

- ・ 訪問看護とは安心して過ごせる、在宅医療をサポートしていきます。
- 在宅で看護（介護）をどうしたらいいのか？ 24時間いつでもサポートしてもらえるのか？
運動（リハビリ）や買い物もしたい。緩和ケア、小児、認知症等幅広く相談したいなどなど



- ・ 始めにご挨拶行い小規模多機能かをるのご紹介をさせていただきました。



- ・ 続きまして本題の訪問看護とはどのようなサービス行うのか。みなさんにお話しました。

☆訪問看護のご利用は

・ 医師が訪問看護を必要と認めた方に介護保険、医療保険（健康保険、高齢者医療制度等）各種制度を使用して、子供から高齢者まですべての人が利用できます。

例えば

- ・ 退院するけど管が入ったまま帰るのは不安
- ・ 障害のある子どもを家族だけで世話できるか不安
- ・ いつ病状が悪化するかわからない
- ・ 薬が処方されているけど、正しく飲めているか不安
- ・ 入退院を繰り返している
- ・ 自宅で最期を迎えたい など



☆自宅で生活するさい主治医が訪問看護が必要と判断した場合利用が可能となります。病状や健康観察、服薬の管理、清拭、入浴介助、排泄介助、食事、水分栄養管理全般行うことができます。もちろん床ずれの処置、人工肛門、膀胱カテーテル処置、気管カニューレ胃ろう、酸素管理、痰の吸引など医療面も行うことができます。また終末期の看護として残された時間をその人らしく過ごせるような在宅療養生活も支援していきます。私たち訪問看護師だけでなく、医師、ホームヘルパー、包括支援センター、市職員、民生委員、今回の主催者小規模多機能のかをるさんなど様々な方と連携を取り利用者様に最適な在宅看護を行っていくのが私たち訪問看護の仕事となります。



☆警察官の方が講習会に参加されました。訪問看護講義のあと、特殊詐欺についてお話していただきました。また、空き家担当の市役所職員の方から空き家の活用などのお話を受けました。

△アンケート参照

△資料別紙参照

はじめまして 訪問看護です！



公益社団法人栃木県看護協会
とちぎ訪問看護ステーションくろばね

管理者 磯 麻衣

1. 訪問看護ってなあに？

「看護師」がご自宅にうかがいます

ご自宅での病気療養のお手伝いをします

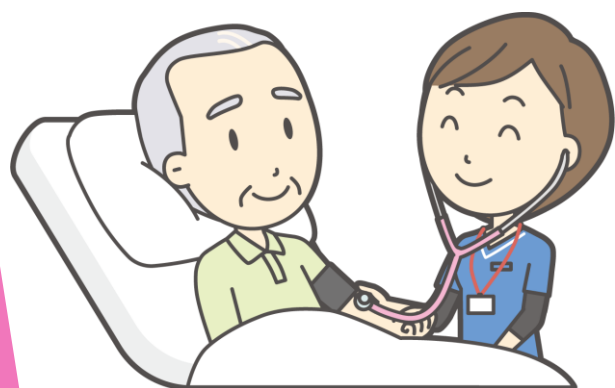


ご自宅で **オーダーメイド** のケアを！

2. お身体の状態観察をします

顔色はどうか？

水分はとれていますか？



体温測定

脈拍

血圧測定

酸素濃度

の測定

3. 服薬管理をお手伝いします

●お薬の管理が不安な方、つい飲み忘れてしまう方

→お薬の管理方法を一緒に考えます



お薬カレンダーや配薬ボックスが便利です

①お薬カレンダー



②配薬ボックス



4. 清潔ケアや入浴の介助をします

- 自宅のお風呂に入りたいけど、体調が心配・・・
- ひとりでお風呂に入るのが心配・・・



入浴前後に体調の観察をするので、安心安全に入浴できます



5. 医療的な処置やケアもお任せください

- 在宅酸素のサポート
- 人工肛門のパウチ交換
- 尿の管の管理
- 床ずれの処置



6. 訪問看護のメリット

- 介護されているご家族の相談にのります
- 24時間お電話OK、必要に応じて訪問します
- かかりつけ医に相談報告し、連携をはかります
- 「最期まで自宅で過ごしたい」をお手伝いします

7. 訪問スケジュール例

① Aさん

デイサービス 週3回利用

訪問看護 週1回（1時間）

状態観察・お薬の確認・介護相談

② Bさん

デイサービス 週1回利用

訪問看護 週2回（各1時間）

状態観察・入浴支援・お薬の確認

7. 訪問スケジュール例（2）

③ Cさん

訪問看護 週3回（各1時間）

状態観察・パウチ交換・お薬の確認／セット

訪問看護を使いたいけど、
どこに相談すればいいのかしら？

8. 訪問看護を始めるには・・・

- ケアマネジャーさんがいる場合は
ケアマネジャーさんに相談してください
- 介護保険を持っていない方は
地域包括支援センターに相談してください
- ご病気によっては **医療保険** での
訪問看護となります

9. とちぎ訪問看護 ステーションくろばね

- 平成10年（1998年）7月に開所
今年で開所25年を迎えました
- くろばね秋まつり、須賀川新茶まつり、
湯津上の福祉まつりなど、地域のお祭りの際は
ぜひ、血圧測定や健康相談にお立ちより下さい
- オレンジ色の旗が目印です



ご清聴ありがとうございました。



事務所情報です！

くろばね秋まつりで与一くんとパチリ📷

地域で支え合う3回シリーズ 第2回目アンケート結果

1. 年齢、性別

男性	女性	60歳代	70歳代	80歳代
6	16	8	11	3

2. 居住地

川西地区	黒羽地区	両郷地区
10	7	5

3. 介護経験

あり	なし	無回答
8	9	5

4. 訪問看護をご存知でしたか？

利用したことがある	0
知っている	5
名前は聞いたことがあるが、よく知らない	13
今回、初めて聞いた	2

5. 訪問看護の支援で何を受けてみたいですか？(複数回答可)

状態観察	10
服薬管理	6
入浴支援	3
介護相談	8
その他	5 (当分利用しない)

6. 受講してみてもいかがでしたか？

理解できた	20
まあ理解できた	2
あまり理解できなかった	0

☆地域住民の皆さんが今回の講習を理解できた。

7. ご意見、ご感想

- 老後の生活が安心できました。ありがとうございました。
- 30年前に家で母を看取りました。とても大変でした。このような制度ができてとても安心しました。

- 自宅で医療的なことは家族では難しいと思っていましたが訪問看護を利用することで家族がすべて背負うことなく看護師さんと一緒にケアができると思いました。
- どうしても最後は病院と思っていましたが訪問看護やホームヘルパーさん、主治医の先生、近くの施設の方が協力してみてもらえるので自分の時は自宅で最期を迎えたいと思っていたのでよいお話を聞くことができました。
- 訪問看護とはどのようなものなのか分からないことが多くありましたが今回講習会に参加して気軽に利用できると分かりました。
- 医療的はことは素人ではできませんが訪問看護師さんがいてくれると安心します。
- こんな田舎でもオレオレ詐欺があるんですね。わざわざ警察官の方が来てくれ啓発活動をしてくれて助かります。
- 黒羽地区は空き家が多く今後どうなるのかな?っと思っていましたが市の方でいろいろ活用方法を模索していたとは知りませんでした。また、そこに都会の方が定住する場になっているとはすばらしい活用だと思いました。